

村内の学校施設(体育館・格技場・グラウンド)を利用したい皆さんへ

スポーツ少年団を含む、村内のスポーツ団体(▽構成員の半数以上かつ10人以上が村内在住・在勤・在学である▽20歳以上の監督者がいる——を満す団体)を対象に、村内の学校施設(体育館・格技場・グラウンド)を開放します。年間を通して利用を希望する団体の代表者は、必ず利用調整会議に出席してください。

【一般開放(通年利用、スポーツ少年団等)】

	体育館・格技場利用調整会議	グラウンド利用調整会議
期日	2月24日(水)	2月25日(木)
時間	午後7時から	
場所	東海文化センター	

その他▼▽一団体当たりの出席者は原則1人とし、マスクを着用の上お越しください。▽希望枠が重複する場合は団体同士の話し合いで決定するため、あらかじめ候補日を多めに準備してください。▽第1希望枠が決定している団体は、2月18日(木)までに、ファックスまたはメール(▽希望施設(全面・半面)▽曜日▽時間帯▽団体名・代表者名▽代表者連絡先(電話番号・メールアドレス)——を明記)で、生涯学習課文化・

スポーツ推進担当へお知らせください。

【特別開放(自治会・子ども会・学童クラブ)】

自治会・子ども会・学童クラブの行事に限り、一般開放に優先して学校施設を利用することができます。利用を希望する日が決まっている場合は、3月15日(月)までに、利用申込書を生涯学習課文化・スポーツ推進担当へ提出してください。※調整会議への出席は不要です。

その他▼▽利用申込書は、利用日時が決まり次第、早めに提出してください。▽利用申込書は生涯学習課で配布しているほか、村公式ホームページ(右QRコードよりアクセス可)からもダウンロードできます。



【申し込み・問い合わせ】生涯学習課文化・スポーツ推進担当(役場行政棟4階 ☎282-1711 内線1422 FAX282-7944 ✉syougaiakusyu@vill.tokai.ibaraki.jp)

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止・延期などを行う場合があります。

「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



保育の道を歩み始めて17年。今ではこの仕事のやりがいや誰よりも知っていますが、私がそのやりがいに気付くまでには少し時間がかかりました。

保育の道に進む人は、「小さい頃からの夢でした」「保育者を目指し勉強を頑張ってきました」など早くから進むべき道を決めていることが多く、学生時代は全く別の職業を目指していた私にとって、そんな先生方の姿が輝いて見えていました。

そんな私がどうして保育の道を歩もうとしたのか。それは「あなたが今幸せなのは、幼児期に豊かな

経験をとくさんしたからなのね」という学生時代の恩師の言葉がきっかけで、幼児教育に興味を持ったからです。幼児期は人間形成の基礎を培うとても重要な時期です。この時期にさまざまな経験をさせてあげ、子どもたちの人生が豊かになるような手伝いができる保育者になろうと決めてからは、自分の道が開けたように思いました。

保育の仕事は子どもたちと遊ぶことだけに注目されがちですが、私たち保育者は幼児期の遊びがいかに重要なのかを知って保育をしています。幼児期の学びは、遊びを通して直接的な体験でしか得られないため、幼稚園では本物に触れる経験を大切にしています。

「カブトムシの幼虫ってうちするの？」など、子どもたちの疑問を解決するために直接的な体験ができるように保育を考え、遊びながら考えて学び、学んだ子どもたちの自信に満ちた笑顔が見られる。こういったところにとても大きなやりがいを感じています。

子どもたちの未来を豊かにするために、ぜひ私たちと一緒に保育の道を歩んでみませんか。

須和間幼稚園
山田 沙織 指導教諭